

# 既習事項を現在及び将来の社会生活とのつながりで考え、 生かしていこうとする生徒の育成

—課題設定時における工夫と「すてきな大人になろうシート」の活用を通して—

特別研修員 特別支援教育 根岸 修一（特別支援学校教諭）

## 【生徒の実態】

国語で学んだことが社会生活とつながっていない。

## 【教師の願い】

国語で学んだことは、社会生活に必要な力であることを実感し、生かしてほしい。

### 【手立て 1】

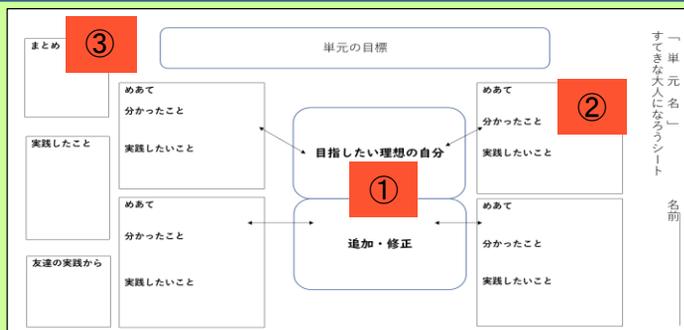
単元の課題や本時のめあての設定時の工夫  
社会生活で想定される場面をスライド資料で提示



(例) 昼食に誘われ、断り方で悩む場面

### 【手立て 2】

「すてきな大人になろうシート」の活用  
目指したい理想の自分を中心に考える1枚ポートフォリオ



## 【授業実践】 国語科 単元「表現力を高めよう」

### つかむ過程 (第1時)

実習等で思いを表現できない場面のスライド資料を視聴し単元を貫く課題を設定する



職場体験で、うまく伝えられなかった。相手に分かりやすい表現の仕方を考えていこう。

単元終了時になりたい理想の姿を記入する

### 目指したい理想の自分

・話をよく聞く。・ゆっくりと大きな声で言う。

### 追加・修正 (授業を受けて毎時間書き足す)

・理由を「〇〇だから」と言う。・慣用句を調べて使う。

### 追究する過程 (第2～5時)

依頼や誘いを断る場面のスライド資料を視聴し毎時間のめあてを設定する



もっと上手に断るにはどうしたらよいか考えていこう。

分かったこと及び実践したいことをまとめる

### 分かったこと

相手の意図や自分が思うこと、したいことの両方を考えて自分が何をどうしたいかをはっきり伝える。

### 実践したいこと

相手の立場に立って、自分の意見を伝えたい。

### まとめる過程 (第6時)

単元を貫く課題をまとめ、社会生活の中で実践したことを発表し合う



相手の立場を理解して、断ったら相手が納得してくれた。

### まとめ

相手に伝える時は、よく考えて事実や理由を伝える。思ったことをはっきり伝える。

### 実践したこと

入社面接の時、「～だから」と理由を話した。語句を増やせるように分からない言葉は辞書を引いた。

### 友達の実践から

Cさんが実習先へ手紙を書いた中に忙しくて「目が回る」と慣用句を使っていたので真似したい。

目指す生徒像

国語で学んだことを社会生活に生かしていこうとする生徒

## 【成果と課題】

- 生徒の社会生活で想定される場面をスライドで示したことで、自分事として捉え、単元を貫く課題や毎時間の「めあて」を設定することができた。
- 「大人になろうシート」を活用することで、学んだことを社会生活とつなげて考えることができた。また、社会生活で生かす機会を探し実践したことで、学んだことを生かそうとする意欲が高まった。
- シートへの書き込みが多く読みにくくなった生徒がいた。実態に応じて枠や記入の仕方を工夫したい。